



天王森通信

2024年10.11.12月号 No.124 発行 天王森泉公園運営委員会

写真【すすめから公園のもち米の稲穂を守っている やすしかかし「はい〜」】

秋を迎えて

運営委員会会長 角本 等

やっと秋を迎えられたと感じる日が多くなりました。今年の夏は、猛暑日が、1896年(明治29年)以降の観測史上最多を更新した様です。この暑さから、お客様・ボランティアの方々及びスタッフが熱中症にならない様対策を行って来ました。おかげ様で熱中症による事故は今のところ発生していません。

そんな中、当公園前の田んぼ横のあぜに9月中旬には、毎年彼岸花が沢山咲きますが、今年は、あぜ横水路に沿って一部分(土の温度が低い箇所)だけ咲いていました。9月末頃にやっとあぜに、一斉に彼岸花の芽が出てきました。気候の変化が、草花、昆虫、鳥等の生き物に影響を与えています。

この秋、公園では、古民家ライブ、天王森まつり(開園記念日)、天王森もちつき等(右側カレンダー参照)公園の行事が多くあります。来園され、楽しい秋のひとつをお過ごしください。

秋の野の花苑

毎週金曜日が野の花苑の作業日です。

暑い夏の間も、公園より貸与されたファンベストを「太って見えるけれど暑さよりマシ」と言いながらボランティアさんたちは手入りに精を出してくれました。

あまりの暑さで花が少なかったりしましたが、秋の気配が漂うとやっと落ち着きを取り戻したようです。これから野趣あふれる野菊が咲いてきます。

咲き始めの彼岸花と共に楽しみください。

風露草



セキヤノアキチョウジ



シモバシラー冬に氷の花ができます



ノコンギク



コンギク

天王森泉公園行事カレンダー詳細はホームページを参照ください。



「生き物調査観察会」
10月1日(火) 参加予約
モニタリング調査
毎月第1火曜日を予定



「かかし展示」
9月初旬~10月下旬
公園ボランティア作品展示



「稲刈り体験」参加予約
10月5日(土)
地域の保育園・幼稚園・小学生の参加



「古民家ライブ」
10月14日(月祝) 参加予約
癒しの館と音楽文化の体験
ライブ。篠笛とピアノの演奏



「新そばまつり」前売券販売
10月20日(日) 前売30食
当日10食。そば打ち有志が
奉仕する 新そばまつり



「天王森まつり」
11月10日(日) 自由参加
公園開園27周年行事
天王森鍋・焼芋・野菜直売



「天王森もちつき」
12月8日(日) 自由参加
田んぼグループが作成した
もち米収穫祭。お餅販売

木材を使った顔の作品例

ボランティアが、地域小学校の課外授業の題材として、木材を部品にして人の顔を作品例として作成しました。作品を見ていると心が和みます。



天王森泉公園のホームページ
<https://www.tennoumori.net>



天王森泉公園

くわくわ森の手入れ

くわくわ森の樹木が少なくなり明るさが増したことで、夏の暑さで草木の成長が早く、森の下草を刈ってすすぐ伸びてくる現状です。

この夏は男性スタッフとボランティアさんたちとで、機械刈りや手刈り作業で咲いている野草や貴重な植物を残して整えてきました。草丈を低く保つため、花咲く野草がところどころ見られ、花の蜜を求めて飛ぶチョウも飛びかい、散策をなさる方には楽しんでいただけたと思います。これからはドングリの季節です。クヌギやコナラのドングリを楽しんでください。

保全管理 山本



【森の下草を刈る
女性ボランティア】



【手入れされた
くわくわ森】

稲穂がたわわに穫(みの)りました・・

天王森泉公園の前に広がる、田園地帯。ここの一角にて、私たち田んぼグループも「餅米」と「黒米(古代米)」の収穫めざして作業に勤めています。

9月になっても灼熱の日々。それでも、暦通り、私たちの田んぼでは稲穂がたわわになり皆、首(こうべ)を垂れています。

幾度か台風の影響で危ぶまれましたが、無事持ちこたえています(黒米の一部はダメージを受けてしまいましたが・・)。

そして10月5日は待ちに待った稲刈りイベント。5月末～6月頃にかけて、田植えに参加いただいた、なかよしこども園、鳩の森OBファミリーなどの皆さんが、再び集合して収穫作業。何もなかったぬかるみの土地が、実に、4～5ヶ月でこんな立派な黄金の平原に！ボランティアスタッフで制作した、案山子の「やす子」も、感無量でしょう！

その後、田んぼグループでは、機械刈りも行い、天日干し→脱穀→籾摺り→精米・・・と作業していき、もち米が完成します。もちろん、12月の「天王森もちつき」の材となります(黒米はそのまま販売します)。以上、収穫後も年内はいろいろ楽しめますので、米作りに興味ある方は気軽に参加しませんか？詳しくは、ホームページ、もしくは館を訪ねてください。



田んぼ
グループ
水越

竹林の春 9月～10月ころ竹の春にふ

さわしい色濃い青竹の竹群が広がります。

ところが、今年の竹林には「竹の春」飛び越し「竹の秋」を想像する黄色い葉をまとった竹林光景です。異常気象の仕業が生活環境を一変した今年でした。来春の筍に期待するも、如何なものか？

by 大西



きのこ苑

遮光ネットに覆われた原木シイタケ苑、秋後半には秋シイタケの収穫？

夏日は続く異常気象の昨今、

「散水」・「リス」など考慮するも、「いたずらリス」には手を焼きます。全滅に近い自然栽培原木シイタケ苑です。秋のきのこ汁の振る舞いに危機か？

by 大西



そば同好会



10月中旬以降には秋新そば粉が出回ります。

新そばが繋ぐ新そば祭りは10月20日。美味しいと言われるそば提供に努めます。

昨年は、キタワセ・戸隠そばでした。

今年は〇〇そば？ 乞うご期待方！

by 大西

主な行事のご報告

■「夜の虫ライトトラップ」7月28日(日)



夜の虫生態調査・観察会を行いました。

夏休み中で多く9家族23人。

6時半に集合、明るいうちは森の中を観察。7時半になると暗くなり、光に照らされた布に虫たちが集まってきます。クワガタなどの昆虫20種類以上見られました。捕まえた生き物は放しました。

■「水辺で遊ぼう生き物観察」8月4日(日)



天王森泉公園と境川遊水地公園との共催で行いました。和泉川の鍋屋橋付近で、参加者は7家族21名。川の中で魚の取り方を教わり、川の中の沢山のエビ、魚などを捕まえ、楽しい観察会になりました。捕まえた生き物は放しました。

天王森泉館利用案内

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎月第2・4火曜日(祝日は翌日)

年末・年始(12月29～1月3日)

問合せ先：天王森泉公園事務局 045-804-5133

館内施設の利用：利用日の2ヶ月前より申込受付